

< 介護福祉士基本研修 カリキュラム及び内容 >

利用者の生活全般について、観察などから情報収集、情報を統合・分析し、どのような課題、ニーズがあるかを発見したうえで、QOLを高めるための介護方法を見出していくことが求められます。

日本介護福祉士会が打ち出している介護福祉士の専門性にも、「介護過程の展開による根拠に基づいた介護実践」が明記されています。

本研修の講義・演習を通じて倫理についての再確認やアセスメント、介護過程という介護福祉士の専門性の1つを学びながら、他の受講者と話し合い、結果を導き出すことで、コミュニケーションや人間関係の一端についても学ぶことを目的とします。

【 カリキュラム 】

| 主な研修内容 |
|---|
| 1. 介護過程を展開する前提として ① 求められる介護福祉士像 ② 生活支援としての介護の視点 ③ 自立支援の考え方 ④ 介護福祉士に求められる知識と技術 |
| 2. 介護過程の基礎的理解 ① 介護過程の意義と目的 ② 介護過程の具体的な展開 ③ 介護過程とチームアプローチ |
| 3. 介護過程の展開の実際 事例を基に介護過程を展開する 4日間を通して上記を学びます。 |